

書籍紹介



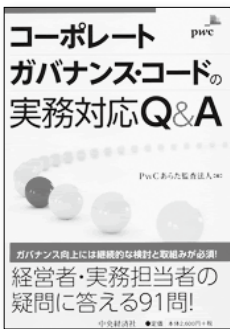
会社法計算書類の実務 —作成・開示の総合解説— (第8版)

(2016年2月8日)
本書では、会社法計算書類作成の実務に携わる方々の疑問を解消できるよう、最新の記載事例を多数収録し、計算関係書類などの作成方法や会社法の計算関係の最新の実務について平易に解説しています。今回の改訂では、2015年5月に施行された改正会社法および改正施行規則について、主に第3章「事業報告」において、改正の概要と事業報告書などへの影響について解説しています。
(中央経済社/あらた監査法人編)



クラウド・リスク・マネジメント

(2016年1月22日)
多くの企業が直面するクラウドサービス利用にかかるリスクが整理集約された本書は、企業がクラウドサービスを利用する際、把握しておくべきリスクと、適切に管理していく手法について解説しています。
(同文館出版/あらた監査法人編)



コーポレートガバナンス・コードの実務対応Q&A

(2015年12月11日)
コーポレートガバナンス・コードへの対応を継続的に検討する企業が、コードの各原則の意味を正しく理解することの一助になることを意図した本です。経営者や実務担当者の疑問に答えるべく、91のQ&Aで解説しています。
(中央経済社/あらた監査法人編)



IFRS解説シリーズV 収益認識 —IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」—

(2015年11月17日)
本書は、IFRS適用企業において、収益認識に際して包括的かつ継続的に適用されることになるIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」について、PwC accounting and financial reporting guideを基礎に、豊富な設例やケーススタディーならびに図表を用いて分かりやすく解説しています。また、日本の実務において、収益認識が問題となる取引の概要についての説明も含めています。
(第一法規/あらた監査法人編)



金融機関のためのIFRS金融商品会計入門

(2015年10月14日)
本書では、金融機関にとって極めて重要な金融商品会計に関するIFRSの全体像を平易に解説しています。また、日本基準からIFRSへの移行による影響や各業種特有の論点も幅広く取り上げています。
(中央経済社/あらた監査法人編)



連結財務諸表の実務マニュアル (第2版)

(2015年9月4日)
本書は、連結財務諸表作成のプロセスについて、図表、設例などを豊富に織り込み、それぞれの論点の内容を解説しています。また、実務適用において参考となる事項や、基準設定の経緯などの有益と思われる背景を「ワンポイント」として記載しています。
(中央経済社/あらた監査法人編)



IFRS解説シリーズIV 公正価値測定

(2015年5月29日)
本書は、IFRSに基づく公正価値測定に際して一般的かつ継続的に適用されることになるIFRS第13号「公正価値測定」について、PwC Manual of Accountingを基礎に、豊富な設例やケーススタディーならびに図表を用いて分かりやすく解説しています。また、公正価値評価が問題になる複雑な金融商品の紹介とその評価方法の概要についての説明も含めています。
(第一法規/あらた監査法人編)



会社法計算書類の実務 —作成・開示の総合解説— (第7版)

(2015年1月28日)
本書では、会社法計算書類の作成方法や会社法の計算関係の最新実務について、各種ひな型・記載モデルなども織り込みながら記載事例を多数示し、解説しています。
(中央経済社/あらた監査法人編)